

令和3年度助成事業一覧

区分	事業名	主催団体	事業内容	実績報告
(3) 生涯学習・地域文化の振興事業	「甲府城ほぼ完全ガイド」作成および現地見学会を含む解説講座開催事業	一般社団法人 やまなし城郭研究協会	①国指定史跡甲府城の歴史・構造・文化財的価値等を中心に、日本城郭の歴史・構造の変化や、甲府城の同時代の他の城郭の紹介などを含む、現時点での甲府城ほぼ完全ガイドブックを作成する。 ②作成したガイドブックを参照にしながらの現地見学会を実施する。 ③同じくガイドブックを使用した、大人向けの・児童向けなどの受講者のレベルにあった講座を開催する。	①実施期間 令和3年4月～令和4年3月 ②参加人数 実績なし (新型コロナウイルス感染症の流行のため、現地見学会及び講座実施できず) ③事業効果 新型コロナウイルス感染症の流行のため、現地見学会及び講座は実施できなかったが、研究会を重ね、甲府城の歴史や見所、文化財的価値を解説するガイドブックを作成することができた。 新型コロナウイルス感染症の収束を機に、当ガイドブックを活用した現地見学会や講座を開催したい。
	夜間中学に関する映画と学習講演会	特定非営利活動法人 子ども・教育と貧困問題を考える会	全国で進んでいる夜間中学設置の動きを参考にしながら学ぶことの意義を考える機会にする。 ○「こんばんはⅡ」の映画を上映する。(映画フィルムを借りて上映。) ○夜間中学に係る人(教員・父母・当事者など)に講演を依頼する。東京などから招へい。 ○参加者で意見交換をする。 ○宣伝はより多くのチラシなど作成して配布。	①実施日 令和3年4月24日 ②参加人数 40名 ③事業効果 夜間中学に関しての映画鑑賞及び夜間中学卒業生などの講演を通して、様々な人たちが学ぶ機会を必要としていることや公立夜間中学について学ぶ機会を提供することができた。
	「未来の学び」(小学生のための生涯学習講座)	特定非営利活動法人 大学コンソーシアム やまなし	夏休み中の小学生とその保護者を対象に山梨県立図書館イベントスペースにおいて山梨県内の大学の教員が「未来の学び」講座を行う。講座は2日間にわたって6講座を開催。受講料は無料。コロナ対策として定員は100名とする。人が集まる場への外出をためらう小学生や保護者のためにZoomミーティングシステムで中継し、レコーディングしてアーカイブ化する。また、報告書は、県内の小中学校に全校配付し、今後のキャリア教育の資料とする。	①実施期間 令和3年10月16日、17日 ②参加人数 60名 ③事業効果 県内の全大学が協働して全県下の小学生に向けて講座を開くのは全国でも初の試みであった。 小学生にとっては、将来の進路や将来の夢を見つける機会となり、大学教員にとっては、自分の研究をわかりやすく解説する教育力養成の場となった。
(4) 地域づくりの推進に関する事業	富士マリモの保全、学習及び環境保全、美化活動	特定非営利活動法人 山中湖姫まりも湖援隊	①山中湖の水質改善のため、山中湖周辺の清掃活動を行う。 ②山中湖の水質改善を図り、富士マリモを再生させるため、水質浄化効果のあるとされる「環境浄化植物」サンパチェンスを育成し、水上フロートに植え付け、山中湖に設置する。 ③子ども達の環境意識の向上を図るため、地元小中学校に専門家講師を派遣し、山中湖及び富士マリモをテーマとした学習会を行う。	①実施日 令和3年4月～11月 ②参加人数 90名 ③事業効果 新型コロナウイルス感染症の影響により、湖畔清掃活動が中止になったが、山中湖の富士マリモを通して、山中湖の水質と周辺環境を守ることの大切さなど、子どもたちに学ぶ機会を提供することができた。
(5) 看護の促進に関する事業	健康データ収集用スマートフォンアプリ	特定非営利活動法人 慢性疾患診療支援システム研究会	ICTを利用し投薬情報、基礎疾患、治療内容などの診療情報をインターネットとコンピュータを中心として医療ならびに住民がともに管理する健康管理システム”マイ健康レコード”を15年運用し、この中で投薬情報の収集も行っており、正確な健康情報把握に有効である。 このシステムはインターネットとコンピュータを中心としたものであるが、このシステムと連携可能なスマートフォン用のアプリを作成し、スマートフォンによるデータへのアクセスを容易にし、生体情報を取得するウェアラブル情報の収集を促進することでより早期に感染の兆候を知ることや、体調の変化を捉えることが可能となるため、重症化の危険性を軽減する。	①実施期間 令和3年4月～令和4年3月 ②参加人数 30名 ③事業効果 産学官による新たな試みとして、南アルプス市でウェアラブル端末を用いた見守り事業の実証実験を始めた。「腕時計型の端末を身につけて日常生活を送るだけで、自動的にAIが体調データの変化を検出し、普段気づきにくい病気の前兆を早期発見し、早期受診に繋げる仕組みの実験」である。 今年度は参加者の3ヶ月間のテストデータを集め、翌年度以降も引き続き、収集データを健康づくりなどにどう活かせるかを実証・分析していく。